



マリヨライン・ファン・デル・ロー
撮影：Roel Janssen

今年の世界52カ国・地域より233件の応募がありました。厳選なる審査の結果、オランダ、マーストリヒト在住のマリヨライン・ファン・デル・ローに決定しました！

2021年度アーティスト・イン・レジデンスプログラム(以下、AIR)、アーティスト決定！

A R C U S
Artist In Residence - IBARAKI

現在のアート・芸術文化を守谷から。

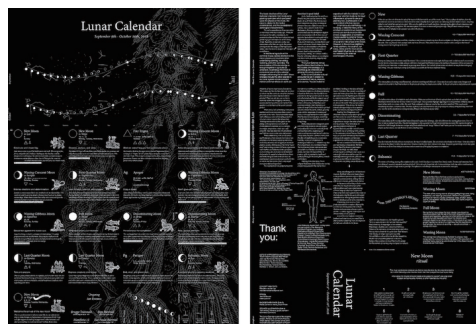
●問合先 アーカススタジオ (もりや学びの里内)
日・月曜日休館 ☎46-2600 (10:00～18:00)
✉arcus@arcus-project.com
◎詳細な情報はアーカスプロジェクトで検索！

1987年オランダ、ヘーレン生まれのファン・デル・ローはユトレヒト大学で美術史、アールト大学(ヘルシンキ)にて、ヴィジュアル・カルチャー(視覚文化)とキュレーション(展覧会制作)を学びました。アーティストとしての活動だけでなく、キュレーターや教育者の顔を持ちながら国内外で活動し、他の領域の専門家や市民と協力しながら制作します。そうしてできる作品は、視覚のみならず五感を活用した展覧会や教育プロジェクト、パフォーマンスなど、多様な形で発表されます。例えば、バイオダイナミック農法や占星術と芸術活動を結びつけて作品化した《Lunar Calendar》は、未来に対して課題の多い社会で人間がどのように生きてゆくべきかを、参加者とともに考え、広く世に問いかけました。アーカスでは、温暖化が進む地球の環境をテーマに、植物の観点から人間と生態系の関係をついて、桂の木とそれにまつわる伝説「桂男」を調べ、映像やレクチャー・パフォーマンスなどの形にして発表する予定です。

マリヨライン・ファン・デル・ロー(オランダ)



Once Upon A Time (2019)



Lunar Calendar (2018)

昨年度にオンライン・レジデンスプログラムに参加したイェヴァ・ラウドウセバ(ラトビア)、ミロナリク(クロアチア)、ミローナ&ユアン・チュン・リウ(アルバニア/台湾)、も加えた3組のアーティストは、12月3日から2月25日までの85日間、オンライン・レジデンスプログラムに参加し、オル太(日本)は守谷で滞在制作をします。

AIR Bridge 2021 開催

アーカスの活動は、守谷市を越えて、茨城県北部の大字町にも及んでいます。

AIR Bridgeという事業では、アーカスがこれまでに培った200の知識やノウハウを他の200団体に伝え、さらには協働することで、交流を深めながら互いのプログラムの実現を目指しています。

2021年度のプログラムでは、アーティストの狩野哲郎氏が9月7日から11月8日までのうち、およそ30日間大字町に滞在し、イノシシなどの狩猟や紙の原料である大子那須楮について調査しながら作品の構想を練ります。

11月には滞在制作の過程や成果を発表するオープンスタジオを開催します。紅葉の美しい季節の大字町で、アーティストの思考の軌跡に触れてみませんか？

▼オープンスタジオ 日時

11月5日(金)・6日(土) 午前10

午後5時 会場 DAIK(大

字町大字池田2775番地)

※予約不要・入場無料

▼報告会 日時 11月23日(火・

祝) 会場 アーカススタジオ

※詳細は広報もりや11月10日号にて。

有料広告スペース

(WEB版では広告を掲載していません)